

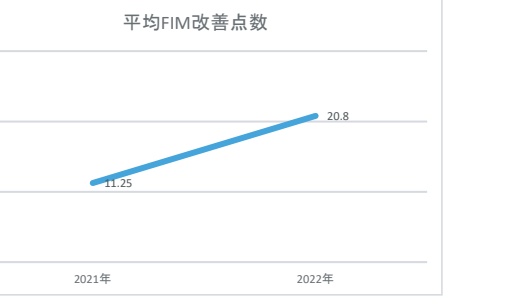
リハビリテーション部より

【心臓疾患のある患者さんへのリハビリの目的】

体力を回復し自身を取り戻し、快適な家庭生活や社会復帰を目標にしています。

【リハビリの効果】

- ・運動能力・体力の向上により、日常生活で心不全の症状（息切れなど）が軽くなる
- ・動脈硬化が進みにくくなり、既にできている動脈硬化性プラーク（血管の壁の盛り上がり）が小さくなる
- ・筋肉量が増えて楽に動けるようになり、心臓への負担が減る
- ・心臓の機能が良くなる、血管が広がって高血圧が改善する
- ・血管が広がりやすくなり、身体の血液循環がよくなる
- ・インスリンの効きが良くなって血糖値が改善する
- ・自律神経が安定して不整脈の予防になる
- ・運動を行うと仕事や家庭生活、社会生活の満足度が高くなる



※FIM 日常生活の介助量を評価する方法で満点が126点

- ・過去3年間の改善点数は平均22点となっています。（全国平均21点）
- ・ある患者さんは入院時歩行器歩行50m程度の歩行能力から屋外歩行自立にまで改善しています。
- ・リハビリテーション部はこれからも地域の皆様に密着したリハビリテーションを提供していきます。

外来診療日程

※予約制

予約受付時間内に電話にて予約をお願いいたします。

予約受付時間

午前 8:30 ~ 11:00
午後 13:30 ~ 16:00

診察時間

午前 9:00 ~ 12:00
午後 14:00 ~ 17:00

(0982) 37-0050 土、日は予約は受け付けておりません。

曜日	9時～12時		14時～17時	
	診療科	リハビリテーション科	診療科	リハビリテーション科
月曜日	○	○	○	○
火曜日	○	○	○	○
水曜日	○	○	○	○
木曜日	○	○	○	○
金曜日	○	○	○	○
土曜日	×	○	×	○
日曜日	×	×	×	×

医療法人 久康会 経営理念

自分が受けたい医療、または、家族に受けさせたい医療を目指します

■基本方針

私たちは地域のみならずの

1. 疾病発生予防を目指します
2. 住み慣れた地での生活支援を目指します
3. 期待に応えられる医療を目指します
4. こどもたちを育む医療を目指します
5. 保健衛生の向上と研究を目指します

■心構

- ・全ての人に笑顔と挨拶
- ・決められたルールは必ず守る

広報誌 Face NOBEOKA

発行月 2023年1月
発行 平田東九州病院
宮崎県延岡市伊形町4791番地
編集発行 経営管理部

Follow me!

Instagram: @hirata370050

HP: コチラから

広報誌へのご意見・お問い合わせにつきましては院内のご意見箱、FAX 0982-37-9158 又はメールまでお願いします。

keikan@-totoro.org

メールはコチラから

HPはコチラから

フェイス Face NOBEOKA

平田東九州病院広報誌

2023. 1 Vol.45

自分が受けたい医療、または家族に受けさせたい医療を目指します。

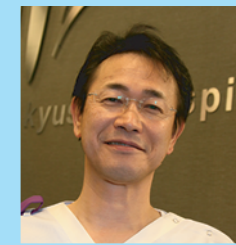


防災訓練を行いました。火災や地震に備えて真剣に取り組んでいます。

目次

- ごあいさつ 1
- 平田病院創立77周年 2
- 緩和ケア研修会 2
- リハビリテーションから 3
- 外来診療日程表 4
- 理念 4

ごあいさつ



平田東九州病院 院長
平田 耕太郎
Hirata Kotaro

2022年は一人の人間の欲望がいつも簡単に、何万とと言う人を不幸のどん底に突き落とせる人の浅はかさを見つけた年となった。まさかこの21世紀にこんな野蛮な戦争が起きるとは。新型コロナの流行で世界が大きく疲弊しているこの時に、国連の安全保障理事国の大統領が戦争を始める現実。一日も早くこの不幸が終了し、この犯罪者に裁判と責任を取らせ同時に、いま世界に広がっている軍拡ムードを抑制していく人類の知恵が必要である。と思いつつ、今私が行うべきは県知事選挙だ。既に期日前投票を済ませたが、前回の投票率が33%とその関心の薄さに無力感を感じる。この無関心・無批判・無行動が今回のロシアの侵攻と無関係と言えるだろうか。小さくちっぽけな権利かもしれないが、それは自分の故郷や子供や孫の将来の道筋への愛情表現なのに、それすらしない人々に、真の自由や権利や豊かな未来が勝手にやってくるのか。そんな世界なら、戦争は起きなかったと思うのは不自然かな。今年は歴史的惨劇の年にならないよう祈りつつ、努力して行く所存です。

医療法人 久康会

平田病院創立77周年記念祭

お陰様をもちまして、創立77周年を迎えることができました。これもひとえに患者様、ご家族の皆様をはじめ地域の皆様、関係機関、各種団体の皆様のお力添えのたまものだと感謝しております。今後も職員一同、皆様一人おひとりに満足のいただける質の高いサービスの提供に努めてまいります。



懐かしの土々呂風景



令和4年度緩和ケア病棟参加型研修会プログラム

2022年11月18日 当院の緩和ケア病棟で研修会を開催いたしました。お忙しい中、医療機関の医師、看護師の方々にご参加くださいました。研修内容と、研修に参加された方々のアンケートを掲載いたします。

研修内容

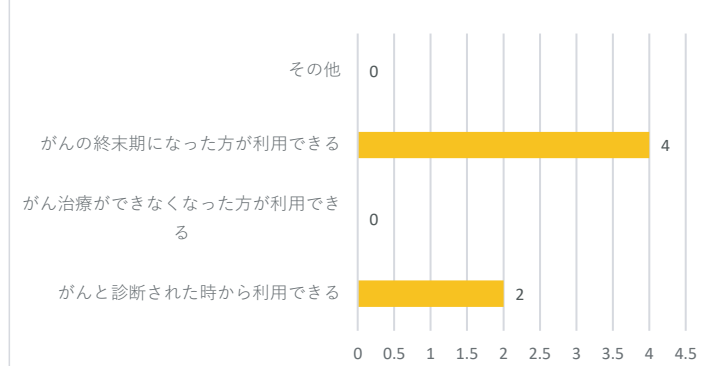
- オリエンテーション
- 病院説明
- 医師紹介
- 症例紹介
- 回診同行
- 実技体験 (医療用麻薬貼布について)
- 振り返り、質疑応答



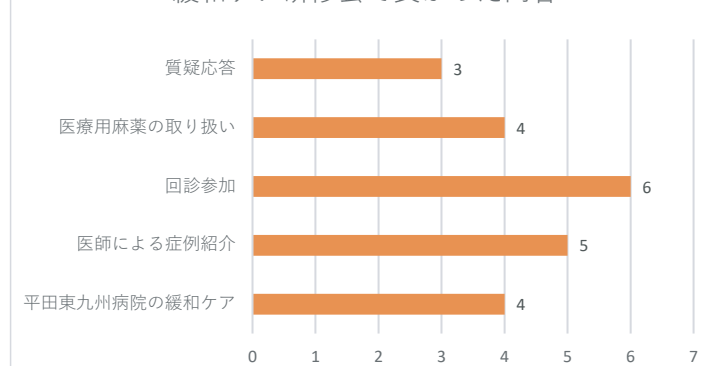
参加者のご意見、ご感想

- ・モニターが病棟になく、とても静かな病棟でびっくりした。
- ・食前酒の提供など自宅に近い環境が実現しており、羨ましく感じた。
- ・がんと診断されたときから緩和ケアを利用できると知った。
- ・月1回のリクリエーション等や外出等もあるなどとても良いと感じた。
- ・医師の考えがしっかりしていてよかった。
- ・リフレッシュ入院が患者様の事を考えていると思った。
- ・緩和ケア病棟でリハビリすることでスムーズな自宅退院が出来ると思った。
- ・在宅に帰ることも考えながら介入されていた。
- ・他職種で関わり個別で対応できていると感じた。

緩和ケア病棟をどのように理解していたか



緩和ケア研修会で良かった内容



今後も参加型研修会を開催予定です。多くの皆様の御参加をお待ちしております。